

128

1 (5月1日)

△地方長官會議

一、中央と地方の調整(日日)

今回の地方長官會議が重要性を認められるのは單に米内内閣最初の會同の意味ばかりで  
ないこと勿論である。特に政府が慣例を破つて期日を延長し、自由懇談の機會を多から  
しめる等新工夫をこらしてゐるに徴しても政府が如何に今回の會議を見てゐるかは明瞭

X X X

△地方長官會議

一、中央と地方の調整(日日)

一、地方長官會議に望む(中外)

一、地方官會議(都)

△聖戰眞義の再確認(國民)

△依存利用の國共關係(讀賣)

△私黨分立を排す(報知)

△東亞建設國民聯盟(朝日)

内 容 目 次

本日の新聞論調(第五百一號) 内閣情報部一五・五・一(水)

である。南京政權樹立に伴ふ事變の新段階は一層國民の不拔の覺悟を必要とし、しかも内面的に國內態勢の整備に重點をおくことが必要となつて來た。その結果中央政府の施設と相俟つて地方の政治が如何に措置されるかに、今回の會同が國民から關心される理由がある。特に國民生活に最も必要な衣食住の資料を生産する地方の重要性は従前に比し遙に擴大されたといふてよく、現下事態における地方長官の任務は單に地方の産業治安等に関する一般施設につきその地方に適應する行政的措置を講ずること共に、更に國家的見地より一般國民を目標とする臨機の措置と施設を講ずる精神が最も必要である。この地方的利害と國家的見地とを如何に調整、具現すべきかの方針を樹てるのが地方官會議第一の目標ではないであらうか。

#### 二、地方長官會議に望む（中外）

事變第四年における我國の内政外交が眞に重大なる段階に直面してゐることは累説する迄もない。かかる内外時局の重大性に顧るならば今次地方長官會議の意義と使命も自ら明瞭であつて、政府自身が過去の地方長官會議に見る形式主義を打破して専らその實質的成果に重きを置き、特に懇談會を設けて政府と地方長官の隔意なき會談の機會を提供してゐるのも當然といふべきである。

今次會議に政府はかかる形式主義を是正するといふが、政府は先づ各關係の訓示並に指示事項を一段と整理、簡明化し率直に政府の所信を明示すること共に各長官に對しては一層多くの發言の機會を提供して眞摯なる態度を以て地方民衆の聲に聽くことが肝要である。就中經濟統制に関する諸政策は一片の法律命令によつて劃一的に律するは不可能であり、政府は各地方の統制の實情を検討し統制方法の利害得失を徹底的に究明すべきであつて、かかる根本問題の審議こそ今次會議の最重要課題たらしめなければならぬ。

#### 一、地方官會議（都）

今回の會議の重要性は單に現内閣始めての會議にて施政の大綱を示すのみでない。戦時下に於ける各種の施政を地方官に呑込ませしめ、全國民一體となりて戦時に善處すべき方法を定むる最重要の意義を有する。特に會議を召集するは上意下達、下意上達を圖るのである。されば地方長官なるものは政府に迎合せんことを力めて政府の喜びさうな事のみをいはず、國民の不平不満とする所あらば十分披瀝して政府の考慮を求め、政府をして最善に遷らしむべきである。形式的會議たらしむる莫れ。

#### △聖戰眞義の再確認（國民）

支那派遣軍總司令部の「派遣軍將兵に告ぐ」の書は派遣軍將兵に對する指標に止まらず、同時に全國民に對する警醒の書でもある所に重大な意義がある。殊に事變發生の根本原因、

交戦の對象は何か、事變は如何に解決すべきかの三項は特に注目せられねばならぬ。歐米各國が政治外交經濟の上に獨占的地位を占めて来たことを實に東亞の安定を缺く重大素因であつた。日支兩國國民は今やこの點に覺醒し東亞再建に協力邁進せねばならぬ。交戦の對象はいふまでもなく「英米佛ソ聯の煽動に隨る抗日政權及びその軍と匪であつて、支那の良民ではない」のである。抗日勢力の排撃は單に重慶政權のみ目標としては成功しないであらう。蔣配下の抗日軍を撃滅の對象としつつ同時に援蔣第三國の策動を阻止抑制することを忘れてはならぬ。支那乃至東洋を永久に植民地化せんとする彼等は蔣政權と同断であつて單に敵性あるものとして寛恕さるべきではない。重慶政權に對する膺懲が軍事的に徹底するを望むと同時に援蔣第三國に對し凡ゆる外交的手段が動員せらるべきことを望せざるを得ぬ。

#### △依存利用の國共關係（讀賣）

法幣問題と國共問題は重慶政府の運命を決する二大基礎であるが、日本では兎角早急な結論をなし、法幣に對しては崩壊、國共關係に對しては分裂を云爲しすぎる傾向がある。法幣は現在ある程度安定を保ちつゝある。國共關係の認識に對しても同様である。最近國共分裂が傳へられるが、元來孫文以來の國共合作關係は微妙である。彼等は支那民族運動を遂行するに當つて共產黨及びソ聯の力を利用せんとしたのが國共合作運動である。蔣介石は支那事變勃發するや、あれ程彈壓した共產黨と合作し共產黨及びソ聯の力を活用してゐる。他方共產黨は民主政治完成の名を以て國民黨の民族運動抗日戦を利用して自力の擴延に力めつつある。 ↓

だからこそ國共對立が生じて國民黨が強硬方針をとるも分裂をなし得ないのである。國共關係を考へるには常に兩者の依存利用關係に重點を置くを要する。抗戦の續く限り分裂は豫想されず、抗戦力がなくなつた時に始めて分裂が生ずるであらう。日本としては國共分裂を期待せず、抗戦力の打破に邁進すべきである。

#### △私黨分立を排す（報知）

第七十五議會末期議案問題を契機として活氣を呈した新黨運動は停頓状態に陥つてゐるが、國民は何等積極的關心を拂つてゐない。それは從來の新黨運動が既成政黨による、新私黨、結成への不純な融合共散に過ぎなかつたからである。時代は新たな意味をもつ眞の政治結社の出現を要求し、國民の黨、としての値打ちを具備した政治勢力の強大なる組織が待望されてゐる。政黨各派の苦悶の中にわれ等は發展的要素の醜態を見出さないうけではないが、特定の人物を中心とする小黨分立乃至は統一的企圖なき新黨計畫の簇生が雨後の筍の感を與へてゐること目撃が今日の政黨、政治家の、私心、多きを證明する現象として不快を禁じ得ない。彼等にしてもし私黨を建つる如き私心を拵拭し國運打開の大眼目に立ち、眞に時局に奉任する熱意を表明することがあり得るとすれば新しき政治の發展過程に貢獻し得ないことはいへぬ。現實の醜態や缺陷を排除せんとする實踐的過程の中に僅かに新政治へ貢獻し得る部面が彼等に殘されてゐるといへる。

△東亞建設國民聯盟(朝日)

今月末次氏を會長とし國同、東方、日本青年黨等を主力とする國民聯盟として結實した新聯盟は「主張の一致を以て結合する」「超黨派的國民組織」として乗り出したことに特色がある。併し「國家體制を確立強化」すといふ國內諸問題に關する綱領政策に詳細な内容が發表されてゐないのは國民運動として發展性ありやを危ましめる。米、石炭、電力、鐵等の國民生活と全産業部門に直接關聯をもつ重要課題が關心事であるこの際だけにかかる焦眉の案件につき一應の提案が如實に要求されてをり、これなくば下から盛上る「國民忠誠の綱和」と「高邁強力なる政治指導」を「一點に結集」することは容易であるまい。これらが整備を見るまでの本聯盟の本質は、「新東亞建設」と「世界新秩序」を結びつけて對外政策の刺戟促進に急進せんとするにあらう。思ふに世界史に東亞興隆の劃期的使命を擔ふものは總ゆる種類の歐米依存を超克するだけの自信を以て屹立しなければならぬ。國策の基本線は東亞に歐洲戰禍波及を防止しつつ長期態勢に耐へ恒久的建設に拮据經營することに存する。新聯盟の目的も右の大乗的方向に存するに相違ないを察せられると共に、その趣旨の如く舉國態勢整備に寄與するを期待する。

△其他「大戰の發展と近東」(朝日)、「健康増進運動」(日日)、「占領地管掌、翁の眞意は、親善阻害者」(都)

本日の新聞概観

第二百十七號

内閣情報部報道班一五・五・一(水)

△概観

物物價審議會が竜要記事でトップ又は之に準ずる扱ひである。「國民」の「英印、西印に有田聲明發動」「都」の「帝國極東小諸國と協約し歐州戰不介入へ」(何もトップ記事)が注目される。

「朝日」「中外」は依然支那戰況をトップにしてゐる。歐米關係では獨南北軍(諾威戰線)の連絡で獨優勢が傳へられてゐる外記事は少い。其他「農産物増産督勵班の報告」が「讀賣」を除き扱はれてゐるが「日日」の「安適る農産物價格、強制しても供米困難」の見出しが巨づく。「報知」は「戰時下農村の真相」と運載物にしてゐる。「日日」は「前線慰問を終へて、厚給給」を一面に大きく扱ひ、「國民」社會面に「期切精勵理事長談」がある。「抗日支那の現性格(日日)」、「次の新戰場近東バルカン(都)」本日より掲載

△國內關係

一、物價審議會

1 (5月1日)  
「日日」「讀賣」のトップ「物價審議會答申案」は特種である。案の骨子は(一)低物價政策を堅持し九、一八價格の凸凹を是正(二)必需品の確保につき低物價堅持と共に消費規正の徹